

実施要項

講座名称：「高冷地応用フィールド演習」 2単位

担当教員：岡部繭子、春日重光、濱野光市

対象学生：全国の大学生

応募要件：高冷地の農業に興味のある方

募集人員：20名

※応募者多数の場合は、受講志望理由書等により、選考いたします。

実施時期：全3回
1回目：平成30年5月12日(土)～5月13日(日)
2回目：平成30年6月30日(土)～7月1日(日)
3回目：平成30年8月8日(水)～8月10日(金)

※全日程、最終日の終了時刻は午後1:30の予定です。

※1～2回のみ参加も可能。但し、その場合は単位認定対象外となります。

集合時刻：各回とも初日の10時(農学部)、または12時(野辺山駅)

集合場所：下記の2カ所から選択

①信州大学農学部管理棟前ロータリー(長野県上伊那郡南箕輪村8304)

②野辺山駅^(注1)

* 集合場所へのアクセスは、信州大学農学部HPを参照。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/access/>

※各集合場所までは公共交通機関を利用すること。



実施場所：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 野辺山ステーション

住所：長野県南佐久郡南牧村大字野辺山字ニツ山462-1

TEL: 0267-98-2638(岡部繭子)

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nobeyama.php>



地 図：



内容・計画：信州大学農学部にはハケ岳東山麓の野辺山高原(標高1,351m)に附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター(AFC) 野辺山ステーションがあります。周辺一帯は、高原野菜の栽培と酪農が盛んな地域で、こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育、研究を推進しています。演習では、教員および技術職員の指導により、自炊設備を備えた宿泊施設(収容97名)と高冷地フィールド・施設を活用して野辺山ステーションの生産圃場においてキャベツを教材として、圃場の

準備、播種、定植から収穫、出荷までの一連の作業を通じて生産技術の習得を目的に、複数回の宿泊実習形式で行います。

また、講義や近隣施設の見学を適時行いながら、連作障害への対応、6次産業化をめざした安定生産技術を習得し、高原野菜の生産や流通システムについて理解を深めます。

本年度の計画は以下の通りです。また、夕食後は高冷地農業および自然環境全般について研究および体験発表等を行います。なお、天候および野菜の生育状況、受講学生の専攻等により計画を一部変更することもあります。

- 1回目: 圃場整備、キャベツ播種、高冷地農業についての講義
- 2回目: キャベツの定植、除草
- 3回目: キャベツの収穫、出荷、集荷場見学、圃場片付け、キャベツの食味比較等

参加費用: 全授業期間の費用: 4~5千円(宿泊、食費等)を現地で徴収します。
集合場所までの旅費は自己負担です。

提出書類: 自大学の学務(教務)担当者と相談の上、下記の書類を提出してください。
下記、IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。
※受入身分について等、不明な点がある場合は下記問合せ先へご連絡ください。

I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類を所属大学・学部の学務(教務)係等へ提出ください。

- ①依頼書(履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ)
- ②履修願(履修希望学生から信州大学農学部長へ)
- ③申告書(履修希望学生から所属大学学部長へ)
- ④受講志望理由書
- ⑤学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー
- ⑥成績証明書

※書類は、所属大学・学部の学務(教務)係等に問合せください。

II. 特別聴講学生とならない場合

以下4点の書類(①②は、下記URLよりダウンロード)を希望学生自身が送付先まで提出ください。
ただし指導教員、クラス担任等の押印が必要です。

- ①申込書
- ②受講志望理由書
- ③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー
- ④健康診断書

※様式ダウンロードURL:

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>

(「高冷地応用フィールド演習」参加者募集のお知らせ内のリンクをクリック)



書類送付・問合せ先: 信州大学農学部学務グループ

住所: 〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

Tel: 0265-77-1309 Fax: 0265-77-1313

Email: agakumu@shinshu-u.ac.jp

※送付の際には、封筒の表に「公開実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切: I IIとも平成30年4月20日(金)信州大学農学部必着

受講許可: 書類の提出後、受講の可否について本人に通知します。

履修上の注意事項:

I. 特別聴講学生となる場合

修了者には信州大学農学部から所属大学・学部の学務(教務)宛に単位修得証明書を発行する。

II. 特別聴講学生とならない場合

修了者には「修了証」を発行する。自大学で単位の認定を希望する学生は、事前に自大学学務担当係等で確認してください。

キャンセルポリシー: 開催1週間前以降のキャンセルについては宿泊費を、1日前および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額を支払っていただきます。

その他特記事項:

◎持参物

初日の昼食、水筒、医療保険証(必要な方は常備薬)、作業着^(注2)、帽子(収穫作業+日焼け防止用)、手袋(軍手等)、ゴム長靴、カッパ、日焼け止め、筆記用具、宿泊に必要な身の回り品^(注3)(入浴用石鹸、シャンプー・歯ブラシ等、洗面具、タオル、着替えを含む)等、参加費+集合場所までの交通費。

* 野辺山ステーションは、高標高(1,351m)のため夏季でも朝夕は冷え込み、防寒着等が必要です。

◎**宿泊施設・設備:** 信州大学農学部HP内、野辺山ステーション紹介ページ参照。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/nobeyama.php>



◎食事

全日程、初日の昼食は各自で用意、持参すること。

演習期間中の食事は自炊(班当番制)、または購入品、ケータリング等。

◎欠席について

欠席する場合は、1週間前までに信州大学農学部学務グループまで申し出てください。

直前にやむなく欠席・遅刻する場合は、各回演習の前日までは信州大学農学部学務グループに、当日は野辺山ステーション(Tel0267-98-2638またはTel090-8723-1740)に必ず連絡してください。

注1: 野辺山駅まで高速バス(新宿駅⇄野辺山駅間)を利用する場合は、事前に信州大学農学部学務グループまで連絡してください。

* 高速バス予約参照URL <http://www.highwaybus.net/route/yts-sin.php?id=TJ>



注2: 長袖、長ズボン等動きやすく、汚れてもかまわない服装であれば、特に指定はありません。ジャージ上下、つなぎ等も可能。

注3: 野辺山ステーションでは、アメニティ用品の備付・販売はございません。また、野辺山ステーションから徒歩圏内にコンビニ・スーパー等はございません。必要なものは予め各自で用意、持参すること。